御代田中学校生徒会からのお知らせ

第61回 雪窓祭

雪窓祭テーマ One Team

『第61回 雪窓祭への意気込み』

今年度の雪窓祭のスローガンは「One Team」です。このスローガンには「全校生徒が心を一つにし、最高の雪窓祭にする」という思いが込められています。新型コロナウイルスの影響はまだまだありますが、雪窓祭が開催できることに感謝し、全力で盛り上げていきたいと思います！

御代田中学校生徒会長　尾台　優太

今もなお終わりの見えぬコロナ禍によってさまざまな制約はありますが、第61回雪窓祭を開催する運びとなりました。雪窓祭の開催にご尽力いただいたすべての皆さまに、この場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございます。

ソーシャルディスタンスの確保やマスク着用によって、人との関わりが極端に減った今だからこそ、人と人との繋がりによって生まれる「協力」を大切にして、全校生徒が一体となれるような、最高の雪窓祭を創り上げていきます！

雪窓祭推進委員会委員長　真嶋　翼

【アルミ缶およびペットボトルキャップの回収にもご協力を！】

生徒会では、アルミ缶回収を実施しています。目的は、収益金で福祉に貢献するためです。具体的な福祉に対する貢献の方法は、現在、御代田町役場総務課の皆さまにご助言をいただきながら検討している段階です。今年度は9月末日まで回収を行う予定ですが、状況に応じて10月末日まで延長する場合もあります。ご協力をよろしくお願いします。

また、世界の子ども達のポリオワクチン代として活用してもらうために、ペットボトルのキャップも回収しています。ご協力よろしくお願いします。

【雪窓祭日程】

【第１日目】	
★開祭式	9:00～ 9:30
★意見文・英語スピーチ	9:45～10:15
★雪窓祭推進企画	10:25～11:25
★軽音楽班公演	11:45～12:15
★体育祭	13:25～15:25
【第２日目】	
★演劇部公演	8:55～ 9:45
★音楽祭	10:05～11:45
★吹奏楽部公演	12:55～13:45
★閉祭式	14:35～14:55

町民の皆さまへ

今年度も第61回雪窓祭を本紙面の通り開催いたします。

本来であれば、町民の皆さま方に雪窓祭を公開し、生徒の活動の様子や日ごろの学習の成果をご覧いただきたいところではありますが、今年度につきましては**一般公開を原則中止とさせていただきます。**

新型コロナウイルス感染症は未だ収束のめどがたっていない状況にあり、十分な感染症対策を講じながら、可能な限り生徒の活動時間や活動機会を確保するための苦渋の決断であります。

また、例年雪窓祭と同時に開催しておりました**PTA主催のバザーについても今年度は中止とします。**町民の皆さまには何卒ご理解、ご協力をお願いします。

Vol.20 町長コラム

このコーナーでは毎号、小園町長が町民の皆さんに届けたいメッセージを綴ります。

ふるさと納税を長く活かすために

広報８月号でお知らせしたとおり、令和２年度のふるさと納税は前年度の２倍を大きく上回る２億3200万円を集めることができました。総務省の基準では返礼品の代金やポータルサイト手数料などの経費は全体で50％以内とされていますが、御代田町では経費率は41％ほど、9600万円弱に抑えることができ、町には１億3600万円余りが残りました。高額商品のプロモーションを進め、寄付金に対する送料の割合を相当低くしたことが要因です。もちろん、経費とはいっても返礼品の売上総額6000万円超は地元企業の売り上げに貢献しています。

今年度のふるさと納税は、当初予算では前年度同様予定額２億円を盛っておりますが、３月サンライン上にオープンした高級オーベルジュ「THE HIRAMATSU 軽井沢 御代田」の宿泊券が大人気。加えて県との粘り強い折衝の結果、ヤッホーブルーイングのクラフトビール「よなよなエール」が７月中旬、返礼品に復活できました。まずは前年超えを目指して対策を打ち出していきます。

ふるさと納税に対する批判として、「一過性の収入であり不安定」というものがあると思います。私としては、長期的課題のため基金にどう積んでいくのか、が重要だと考えています。主に３点を重視しており、①介護保険料の値上げを抑える②給食費の無償化推進③（相当先ですが）南北小学校の建て替えのための資金、です。これにより幅広い世代のため長期間安定した財政運営を進めることができます。幸い、既存の基金の中には長年塩漬けになっているものもありますので、基金の組み替えでベースをつくり、あとはふるさと納税から毎年繰り入れてざっと10年分を準備しておければ相当安心ではと思います。町民の皆さまにおかれましては、「御代田町ふるさと納税」のお呼び掛けをぜひともお願いいたします。

心理師（Shin ri shi）岡本直人（Oka moto Nao to）

Vol.8 「よく使われる言葉を越えて」

町長、先月号で僕のことをコラムに書いていただきありがとうございます

町の心理師、岡本です。

ここ最近のコラムでは、相談活動を実施するうえで大切にしている視点を紹介してきましたが、今回は逆に私がそれほどこだわっていない考え方や使わないセリフなどをお話します。

まずは「性格」です。性格を考慮しないとか、会話の中で全く使わないとか、そういうわけではありません。話の切り口として性格を取り上げることはあるかもしれませんが、ただ性格の問題だけで話を片づけてしまったり、その人を理解したつもりになったりすることは全くなく、支援をするときには性格以外に注目することが常です。

次に「やる気」です。特に子どもの相談では「やる気がない」というパターンが多いですが、こちらもやる気以外のこと、例えば生活のリズムや習慣、大人の接し方、気づかれていない苦手さがないかどうかなどを見ます。どうも性格・やる気などに話が終始してしまうと、「変えられない」「個人の問題だ」と見なされやすいのので注意しています。

３つめは「大丈夫」「気にしないで」といったセリフです。もちろんむやみに不安を煽ることはしませんが、だからといって安易に安心を伝えることもしません。不安の理由や普段の気にしかたなどを詳しく聞いて、「気休め」や「気にしないようにする」以外の対処を考えていきます。

４つめもセリフで「様子を見ましょう（待ちましょう）」です。確かに子どもの場合だと時間経過によって変化することが珍しくないため、このようなセリフや対応がとられることも一部理解できます。ただ、何もしないで様子を見ることは勧めず、何かしらの準備やできることを提案しています。

ほかにもありますが、今回はここまで。念のため補足をすると、上記の言葉やセリフが悪いというわけではなく、立場や専門性によってはその意味合いや使用頻度が異なると思います。あくまで岡本個人の場合であることをご了承ください。

問い合わせ先　教育委員会学校教育係（32）9100